

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/000579

International filing date: 19 January 2005 (19.01.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-014049
Filing date: 22 January 2004 (22.01.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 07 April 2005 (07.04.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

16.02.2005

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2004年 1月22日
Date of Application:

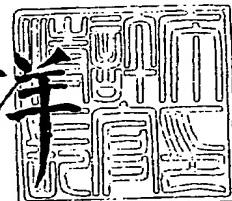
出願番号 特願2004-014049
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP2004-014049]

出願人 吉田プラ工業株式会社
Applicant(s):

2005年 3月24日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川洋



出証番号 出証特2005-3025990

【書類名】 特許願
【整理番号】 YOS0362
【提出日】 平成16年 1月22日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 A45D
【発明者】
【住所又は居所】 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内
【氏名】 柚原 幸知
【発明者】
【住所又は居所】 東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内
【氏名】 禿下 貴之
【特許出願人】
【識別番号】 000160223
【氏名又は名称】 吉田工業株式会社
【代理人】
【識別番号】 100094042
【弁理士】
【氏名又は名称】 鈴木 知
【選任した代理人】
【識別番号】 100071283
【弁理士】
【氏名又は名称】 一色 健輔
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 170842
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】特許請求の範囲**【請求項 1】**

内周に螺旋溝が形成された中空筒体状のケース本体と、該ケース本体内に設けられた光源装置と、上記ケース本体内に相対回転可能に設けられ、上記螺旋溝の形成部分に縦スリットが形成された中空筒体状のカバーと、上記縦スリットを貫通して上記螺旋溝に係合する突起が形成されて、透光性を有する素材で形成された棒状物を保持しつつ、上記カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられるとともに、上記光源装置の光を該棒状物へ向かって透過させる光透過部が形成された保持体と、上記カバーを覆って上記ケース本体に着脱可能に装着されるキャップとを備えたことを特徴とする繰り上げ式の棒状物収納ケース。

【請求項 2】

前記ケース本体および前記カバーが、光の透過を妨げる不透明な素材で形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の繰り上げ式の棒状物収納ケース。

【請求項 3】

前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリとからなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の繰り上げ式の棒状物収納ケース。

【書類名】明細書

【発明の名称】繰り上げ式の棒状物収納ケース

【技術分野】

【0001】

本発明は、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる繰り上げ式の棒状物収納ケースに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、棒状物を収納する収納ケースとしては、例えば特許文献1に開示されているように、使用するときには棒状物である口紅を収納ケースから繰り上げ、収納するときには、収納ケース内に繰り下げるようになした繰り上げ式の棒状物収納ケースが知られている。そしてこのような棒状物収納ケースにあっては一般に、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、塗装などにより着色したり、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、プレート材や転写シートを用いて平面的あるいは立体的に文字や模様などを施したり、模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、収納ケースの表面に装飾を施すようにしていた。

【0003】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願2002-221189号および特願2003-116289号を出願している。

【特許文献1】特開平9-182621号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ところで、上記従来の技術で得られる加飾はいずれも、既にありきたりなものであり、装飾を施すという技術面から見ると、限界があった。

【0005】

ここに本発明者は、上述したようなこれまでの加飾技術では考えられていなかった、光源からの光を利用することに着目し、光によって加飾を行うことによって、棒状物収納ケースに、今まで見たことのない美的装飾効果を与え得るとの知見を得て、本発明を完成するに至ったものである。

【0006】

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであって、光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出せる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる繰り上げ式の棒状物収納ケースを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースは、内周に螺旋溝が形成された中空筒体状のケース本体と、該ケース本体内に設けられた光源装置と、上記ケース本体内に相対回転可能に設けられ、上記螺旋溝の形成部分に縦スリットが形成された中空筒体状のカバーと、上記縦スリットを貫通して上記螺旋溝に係合する突起が形成されて、透光性を有する素材で形成された棒状物を保持しつつ、上記カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられるとともに、上記光源装置の光を該棒状物へ向かって透過させる光透過部が形成された保持体と、上記カバーを覆って上記ケース本体に着脱可能に装着されるキャップとを備えたことを特徴とする。

【0008】

また、前記ケース本体および前記カバーが、光の透過を妨げる不透明な素材で形成されていることを特徴とする。

【0009】

出証特2005-3025990

さらに、前記光源装置は、光源と、該光源の発光をコントロールするコントローラと、これらコントローラおよび光源に電力を供給するバッテリとからなることを特徴とする。

【発明の効果】

【0010】

本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースにあっては、光を利用した多種多様な加飾を得ることができ、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

以下に、本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースの好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケース1は図1～図3に示すように、中空円筒体状のケース本体2の内側に、中空円筒体状のカバー3が設けられるとともに、このカバー3の内側に、中空円筒体状の保持体4が設けられ、かつ、この保持体4に、口紅などの棒状物5が保持されることにより概略構成され、そして、ケース本体2の縮径された上端部2aには、カバー3の上部を覆って、キャップ6が着脱可能に装着されるようになっている。

【0012】

図示例にあっては、繰り上げ式の棒状物収納ケース1として、保持体4に、棒状物5として口紅が保持される口紅容器が例示されている。しかしながら、繰り上げ式の棒状物収納ケース1としては、このような口紅容器に限らず、いかなる棒状物5を収納するものであっても良いことはもちろんである。

【0013】

ケース本体2は上下端が開放されて形成され、その内周にはその軸方向である上下方向に、棒状物5の繰り上げ量に対応させて相当の長さにわたって螺旋溝7が形成される。そして、ケース本体2の開放された下端には、リング状の底板8が取り付け取り外し可能に螺着される。カバー3はこれも上下端が開放されて形成され、かつケース本体2より長く形成されて、このケース本体2の内側に相対回転可能に設けられる。そして、カバー3をケース本体2に取り付けた状態では、カバー3の上端部3aがケース本体2の上端部2aから外方へ突出される。また、カバー3がケース本体2に取り囲まれる部分には、螺旋溝7の形成部分に対応させて縦スリット9が形成される。

【0014】

保持体4は、上下方向中央部に仕切り部4aを有し、かつ上下端が開放されて形成され、カバー3の内側に上下方向へ相対移動可能に設けられる。そして、保持体4の下端部外側からは、縦スリット9を貫通して螺旋溝7に係合する突起10が一体に突設される。また、保持体4の仕切り部4a上に、棒状物5が保持される。キャップ6は、上端が閉止された中空円筒体状に形成される。このキャップ6は、ケース本体2の上端部2aに形成されたリブ2bに嵌合されて、ケース本体2に着脱可能に装着される。

【0015】

以上のように構成された本実施形態の繰り上げ式の棒状物収納ケース1にあっては、図2に示すように棒状物5を収納してキャップ6を装着した状態では、ケース本体2およびキャップ6がその外観を形成し、カバー3および保持体4はその内部に隠蔽される。他方、棒状物5を取り出す際には、キャップ6を取り外してケース本体2とカバー3とを相対回転、例えばケース本体2を右回転することにより、縦スリット9を貫通する保持体4の突起10が螺旋溝7に沿って移動する。すると、図1および図3に示したように保持体4が上方に繰り上げられ、棒状物5がカバー3の上端部3aから突出される。また、棒状物5を収納するときには、ケース本体2とカバー3とを反対方向に相対回転、例えばケース本体2を左回転することにより、突起10が螺旋溝7に沿って逆方向に移動されて保持体4は繰り下げられ、棒状物5がカバー3内に収納される。

【0016】

そして特に、本実施形態にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケース1にあっては、ケース

本体2内に光源装置11が設けられるとともに、当該ケース本体2とカバー3とは光の透過を妨げる素材、例えば金属製や有色不透明の合成樹脂製で形成される一方で、保持体4には、光源装置11の光を透過させる光透過部が形成される。そしてまた特に、保持体4に保持される棒状物5も、透光性を有する素材で形成される。光源装置11は、ケース本体2内を上下移動する保持体4の仕切り部4a下に区画形成される空間部S内に、リング体8上に取り付けて設けられる。

【0017】

この光源装置11は、保持体4およびカバー3、ひいてはケース本体2に周囲を取り囲まれて配置されるRGB光源12と、このRGB光源12の各色の発光量をコントロールするコントローラを構成する電子部品が実装された電子基板13と、これら電子基板13およびこれを介してRGB光源12に電力を供給するボタン型電池などのバッテリ14と、バッテリ14から電子基板13などへの電力供給を断続するスイッチ15とが、これらを上下に積み重ねる配置で取り付けて構成され、リング体8の脱着で部品交換可能とされる。RGB光源12は電子基板13上に直接実装されている。またスイッチ15は、その操作用押しボタン15aがリング体8の孔部8aを介して、下方に露出される。

【0018】

RGB光源12としては、LEDや有機エレクトロルミネセンス(EL)素子など、従来知られている各種のものを採用することができる。コントローラを構成する電子部品には、RGB光源12の発光をコントロールするプログラミングが書き込まれたICチップ等の制御素子が含まれ、スイッチ15によってバッテリ14から電力が供給されることにより、プログラミングに従ってRGB光源12を発光させる。

【0019】

RGB光源12の発光のさせ方としては、例えば全体の発光量を増減させてゆっくりと明滅させながら、この明滅の間に、赤、緑および青の発光割合を順次変化させてさまざまな色合いで発光させたり、あるいは短い時間間隔で明滅させながらそのたびにさまざまな色に変えて発色させるなど、どのようなプログラミングを制御素子に格納してもよい。光源としては、RGB光源12に限らず、単色光の光源であってもよいことはもちろんである。

【0020】

他方、保持体4に形成される光透過部については本実施形態にあっては、RGB光源の直上に位置する仕切り部4aに形成した貫通孔16によって構成されている。このように貫通孔16を形成した場合には、保持体4はケース本体2などと同様に、光の透過を妨げる素材で構成しても良い。しかしながら、貫通孔16の形成と合わせて、保持体4全体を、光を透過させる無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材などで形成してもよいことはもちろんである。あるいは、貫通孔16を形成することなく、保持体4それ自体が無色もしくは有色の、透明あるいは半透明の合成樹脂材で形成されて、全体が光透過部として機能するように構成してもよい。さらには、RGB光源12に面する保持体4の一部を、光透過性を呈する合成樹脂材やガラス材、クリスタル材などの透光性材料で形成し、残りの部分を遮光性の材料で形成するようにしてもよい。この場合には例えばインサート成形、すなわち保持体4などを合成樹脂材で射出成形する際に、あらかじめ透光性材料を成形型内に取り付けておき、射出される遮光性の合成樹脂材と一体化するなどの方法で製造すればよい。

【0021】

次に、上記構成を備える本実施形態の繰り上げ式の棒状物収納ケース1の作用について説明する。キャップ6をケース本体2から取り外した状態でスイッチ15を入れると、バッテリ14からRGB光源12や電子基板13に電力が供給され、RGB光源12は、制御素子に書き込まれたプログラミングに従って、明滅などしながら多種多様な色合いや明るさで発光する。このRGB光源12の光は図2に示すように、保持体4を遮光性素材で形成した場合には、貫通孔16を介して棒状物5から外部に照射され、また保持体4を透光性の素材で形成した場合には、この保持体4からも外部に照射されて、これら保持体4

や棒状物5を様々な態様で照らし出す。他方、スイッチ15を切ると、RGB光源12は消灯される。

【0022】

このように以上説明した本実施形態にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケース1にあっては、ケース本体2内に光源装置11を設けるとともに、棒状物5および保持体4を、透光性を呈するように形成していて、ケース本体2内で発せられるRGB光源12の光は、当該ケース本体2に設けられた保持体4および保持体4に保持された棒状物5を透過して、それらを照らし出すこととなり、これら保持体4や棒状物5に、光を利用した多種多様な加飾を施すことができて、繰り上げ式の棒状物収納ケース1に、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる。

【0023】

また、ケース本体2およびカバー3を、光の透過を妨げる不透明な遮光性部材で形成することにより、棒状物収納ケース1の外観に、光のコントラストを鮮やかに見せることができる。また、コントローラでRGB光源12の発光をコントロールするようにしていて、これにより視覚的に訴える、光による多種多様な演出効果が得られ、繰り上げ式の棒状物収納ケース1に、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾を施すことができる。

【図面の簡単な説明】

【0024】

【図1】本発明にかかる繰り上げ式の棒状物収納ケースの好適な一実施形態を示す斜視図である。

【図2】図1の繰り上げ式の棒状物収納ケースの側断面図である。

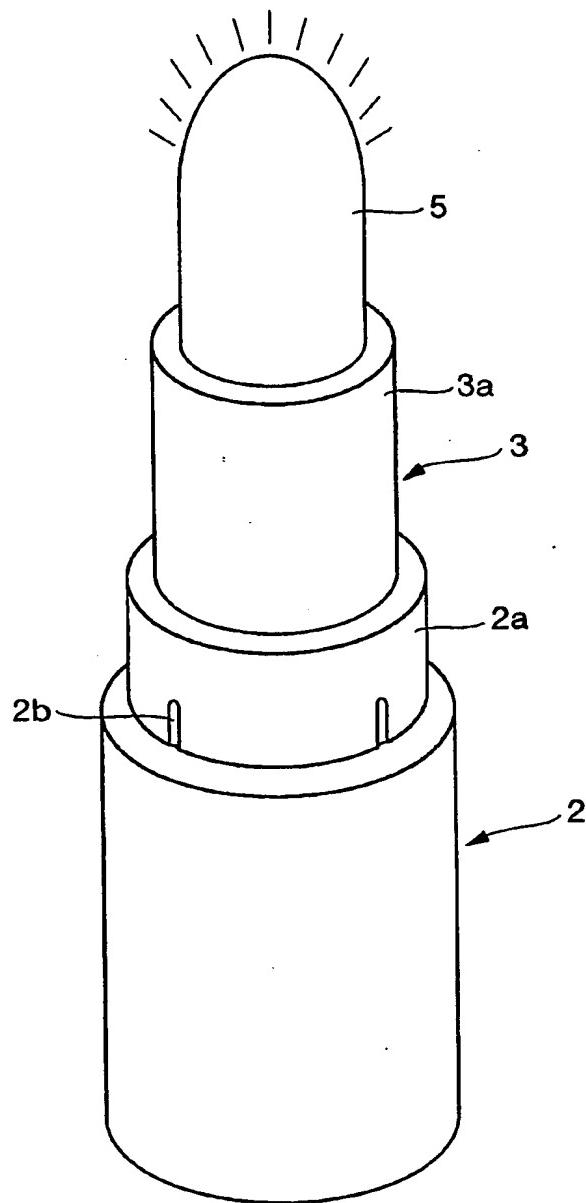
【図3】図1の繰り上げ式の棒状物収納ケースで、棒状物を繰り上げた状態を示す一部破断側面図である。

【符号の説明】

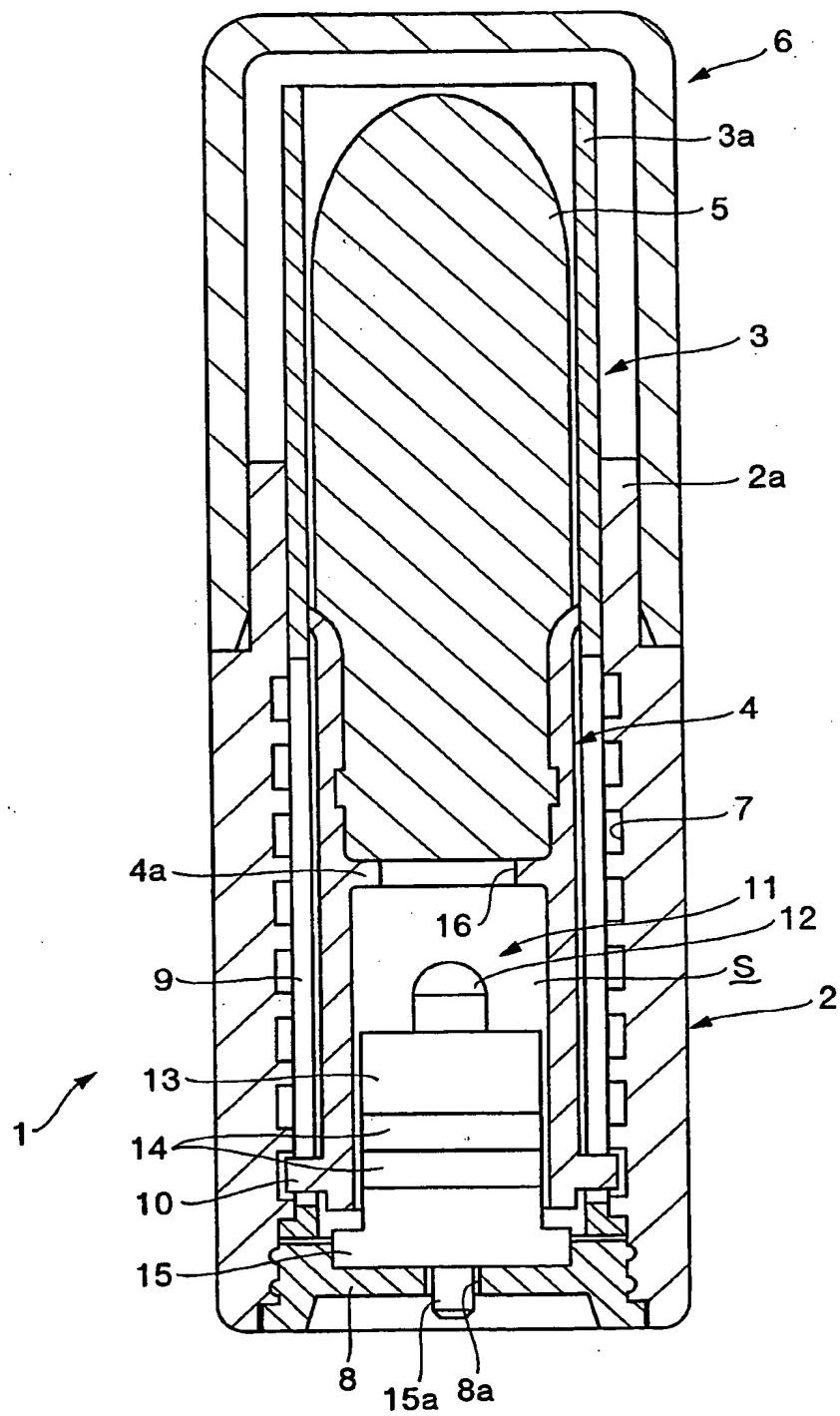
【0025】

- 1 繰り上げ式の棒状物収納ケース
- 2 ケース本体
- 3 カバー
- 4 保持体
- 5 棒状物
- 6 キャップ
- 7 螺旋溝
- 9 縦スリット
- 10 突起
- 11 光源装置
- 12 RGB光源
- 13 電子基板
- 14 バッテリ
- 16 貫通孔

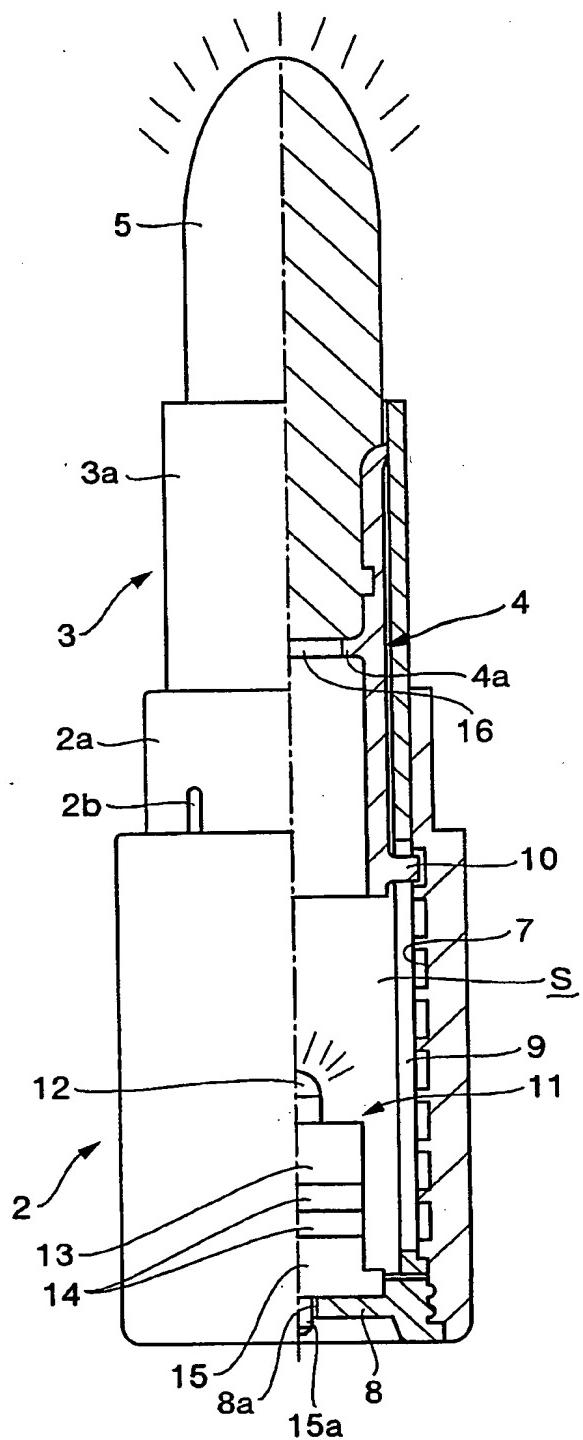
【書類名】 図面
【図1】



【図 2】



【図3】



【書類名】要約書**【要約】**

【課題】光を利用した多種多様な加飾が得られるようにして、特徴的で固有の雰囲気を醸し出させる美的もしくは斬新で新奇な装飾効果を生じさせることができる繰り上げ式の棒状物収納ケースを提供する。

【解決手段】内周に螺旋溝7が形成された中空筒体状のケース本体2と、ケース本体内に設けられた光源装置11と、ケース本体内に相対回転可能に設けられ、螺旋溝の形成部分に縦スリット9が形成された中空筒体状のカバー3と、縦スリットを貫通して螺旋溝に係合する突起10が形成されて、透光性を有する素材で形成された棒状物5を保持しつつ、カバー内に上下方向へ相対移動自在に設けられるとともに、光源装置の光を棒状物へ向かって透過させる貫通孔16が形成された保持体4と、カバーを覆ってケース本体に着脱可能に装着されるキャップ6とを備えた。

【選択図】図2

特願 2004-014049

出願人履歴情報

識別番号

[000160223]

1. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

1990年 9月 10日

新規登録

東京都墨田区立花5丁目29番10号

吉田工業株式会社

2. 変更年月日

[変更理由]

住 所

氏 名

2004年 6月 1日

名称変更

東京都墨田区立花5丁目29番10号

吉田プラ工業株式会社

From the INTERNATIONAL BUREAU

PCT

**NOTIFICATION CONCERNING
SUBMISSION OR TRANSMITTAL
OF PRIORITY DOCUMENT**

(PCT Administrative Instructions, Section 411)

Date of mailing (day/month/year)
19 April 2005 (19.04.2005)

To:

ISSHIKI & CO.
Rookin-Shinbashi Bldg., 12-7, Shinbashi 2-chome,
Minato-ku, Tokyo
1050004
JAPON

Applicant's or agent's file reference PCT740	IMPORTANT NOTIFICATION
International application No. PCT/JP05/000579	International filing date (day/month/year) 19 January 2005 (19.01.2005)
International publication date (day/month/year)	Priority date (day/month/year) 22 January 2004 (22.01.2004)
Applicant YOSHIDA INDUSTRY CO., LTD. et al	

- By means of this Form, which replaces any previously issued notification concerning submission or transmittal of priority documents, the applicant is hereby notified of the date of receipt by the International Bureau of the priority document(s) relating to all earlier application(s) whose priority is claimed. Unless otherwise indicated by the letters "NR", in the right-hand column or by an asterisk appearing next to a date of receipt, the priority document concerned was submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b).
- (If applicable) The letters "NR" appearing in the right-hand column denote a priority document which, on the date of mailing of this Form, had not yet been received by the International Bureau under Rule 17.1(a) or (b). Where, under Rule 17.1(a), the priority document must be submitted by the applicant to the receiving Office or the International Bureau, but the applicant fails to submit the priority document within the applicable time limit under that Rule, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.
- (If applicable) An asterisk (*) appearing next to a date of receipt, in the right-hand column, denotes a priority document submitted or transmitted to the International Bureau but not in compliance with Rule 17.1(a) or (b) (the priority document was received after the time limit prescribed in Rule 17.1(a) or the request to prepare and transmit the priority document was submitted to the receiving Office after the applicable time limit under Rule 17.1(b)). Even though the priority document was not furnished in compliance with Rule 17.1(a) or (b), the International Bureau will nevertheless transmit a copy of the document to the designated Offices, for their consideration. In case such a copy is not accepted by the designated Office as the priority document, Rule 17.1(c) provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.

<u>Priority date</u>	<u>Priority application No.</u>	<u>Country or regional Office or PCT receiving Office</u>	<u>Date of receipt of priority document</u>
22 January 2004 (22.01.2004)	2004-014049	JP	07 April 2005 (07.04.2005)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland	Authorized officer MITANI Akiko Facsimile No. +41 22 338 70 10 Telephone No. +41 22 338 8533
Facsimile No. +41 22 740 14 35	